

歯科材料 2 歯冠材料
管理医療機器 歯科セラムックス用着色材料 (70823000)

IPS イボカラー

【形状・構造及び原理等】

〔種類〕

エッセンス(Essence) 形状：粉

E01 ホワイト, E02 クリーム, E03 レモン, E04 サンセット,
E05 コッパー, E06 ヘイゼル, E07 オリーブ, E08 カーキ,
E09 テラコッタ(レンガ色), E10 マホガニー,
E11 カプチーノ, E12 エスプレッソ, E13 テラ,
E14 プロファンド(こげ茶色), E15 オーシャン,
E16 サファイア, E17 アンストラサイト(炭色), E18 ブラック,
E19 ローズ, E20 コーラル, E21 ベーシックレッド,
E22 ベーシックイエロー, E23 ベーシックブルー

シェード (Shade) 形状：ペースト

SD0, SD1, SD2, SD3, SD4, SD5, SD6, SD7, SD8, SI1,
SI2, SI3

グレーズ ペースト(Glaze Paste)

グレーズ ペースト FLUO (Glaze Paste FLUO)

グレーズ パウダー (Glaze Powder)

グレーズ パウダー FLUO (Glaze Powder FLUO)

〔付属品〕(溶解液)

ミキシングリキッド オールラウンド(Mixing Liquid allround)

ミキシングリキッド ロングライフ(Mixing Liquid longlife)

エッセンス フルイド (Essence Fluid)

〔原理〕

歯科用フレームに専用の液で混和した粉またはペースト
を築盛・焼成し、歯科用修復物の色調の調整を行う。

【使用目的又は効果】

歯科用セラムックス製の修復物を色づけするために用いる
陶材

【使用方法等】

- ステインおよびグレーズ焼成の前に、修復物の付着
物や汚れを除去するため、スチームクリーナーまたは
超音波洗浄で清掃する。
- シェードおよびエッセンス材の濡れ性を良くするため、
ミキシング リキッドを修復物の表面に塗布する。
- シェード材をガラス練板やステインパレット上にとり、ミ
キシング リキッドで練和し、粘度を調整する。
ミキシング リキッドのロングライフを使用した場合、オー
ールラウンドと比較し操作時間が長くなる。
練和したシェード材を筆等で修復物に塗布し焼成して、
修復物の最終的なシェード調整を行う。
- 陶材を築盛する際に修復物内部の特徴付けや、修復
物の最終的な仕上げの際に表面の特徴付けをするに
は、ガラス練板やステインパレット上にとったエッセンス
材をエッセンス フルイドで均一なペースト状に練和して
使用する。その後、ミキシング リキッドで粘度調整し、筆
等で修復物に塗布しステイン焼成する。
- 最終的な仕上げには、ミキシング リキッドでグレーズ材の
粘度を調整したグレーズ材を使用する。筆等で修復物に
塗布しグレーズ焼成する。蛍光性を持たせたい場合は、
蛍光性の高いグレーズ材(フルオロタイプ)を使用する。

- 修復物をスチームクリーナーまたは超音波洗浄で清
掃する。

焼成パラメータ(ステイニングテクニック、カットバックテクニックの場合)

	a	b	c	d	e	f	g
Ivoclar Vivadent製 セラムックス修復物	403	6	60	710	1	450	709

焼成パラメータ(レイヤリングテクニックの場合)

	a	b	c	d	e	f	g
IPS e.max セラム	403	6	60	710	1	450	709
IPS デザイン	403	6	60	800	1	450	799
IPS インライン	403	6	60	830	1	450	829

a：スタンバイ温度(℃)

b：乾燥時間(分)

c：温度上昇率(℃/分)

d：焼成温度(℃)

e：係留時間(分)

f：バキューム開始温度(℃)

g：バキューム解除温度(℃)

IPS e.max ジルキヤドまたは酸化ジルコニウムを使用した修
復物のステインおよびグレーズ焼成には、徐冷(450℃)の
設定をする。

〔使用方法に関連する重要な注意〕

- 本品及び修復物を研磨する場合は、削りかすを吸い込
まないように換気を行い、マスクを着用すること。

【使用上の注意】

〔重要な基本的注意〕

- 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫瘍、かゆ
み、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中
止し医師の診察を受けさせること。
- 対合歯が酸化ジルコニウムの研磨されていないフルカ
ウンターの場合、酸化ジルコニウムを研磨すること。
- 形成後の修復物をアルミナやガラスビーズ等でブラス
ティングしないこと。
- 焼成する際は、焼成トレーと適切な支持ピンを使用しセ
ラムックスピンは使用しないこと。
- 本品の形成後、セメント合着する際、コンディショニング
すること。
- 焼成パラメータは、技法、フレームや陶材の種類などに
より異なるので確認すること。
- IPS e.max キヤドを使用する場合はクリスタライゼーショ
ンを行い、歯冠色になってから行うこと。
- ファーンネスにより、焼成温度が異なることがあるので、校
正済みのファーンネスを用いて焼成すること。
- 製造元が推奨するファーンネスを用いて焼成すること。
- 焼成には高温ファーンネスを使用しないこと。

*【保管方法及び有効期間等】

〔有効期間〕

シェード及びグレーズペーストは製造後24ヶ月有効

グレーズパウダー FLUOは製造後18ヶ月有効

XXXX-YY-DD(西暦-月-日)と外箱に使用期限を記載
外箱に記載の使用期限までに使用すること。

開封後は使用期限にかかわらず、なるべく早めに使用す
ること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent 株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)